



平成26年(2014年)12月期  
第2四半期

# 決算概要書

Funai Soken Holdings Inc. Investors Relations

株式会社 船井総研ホールディングス  
2014年7月30日(水)



## 1 エグゼクティブサマリー

- (1) 連結収益状況
- (2) 通期業績予想に対する進捗状況

## 2 平成26年12月期第2四半期決算報告

- (1) セグメント別経営成績
- (2) 経営コンサルティング事業における業績動向
- (3) ロジスティクス事業における業績動向
- (4) 連結財務状況

## 3 今後の見通しと当社の取り組み

## 4 株主還元について

【本資料に関する注意事項】



# エグゼクティブサマリー

Funai Soken Holdings Inc. Investors Relations

# 1. エグゼクティブサマリー

## (1) 連結収益状況

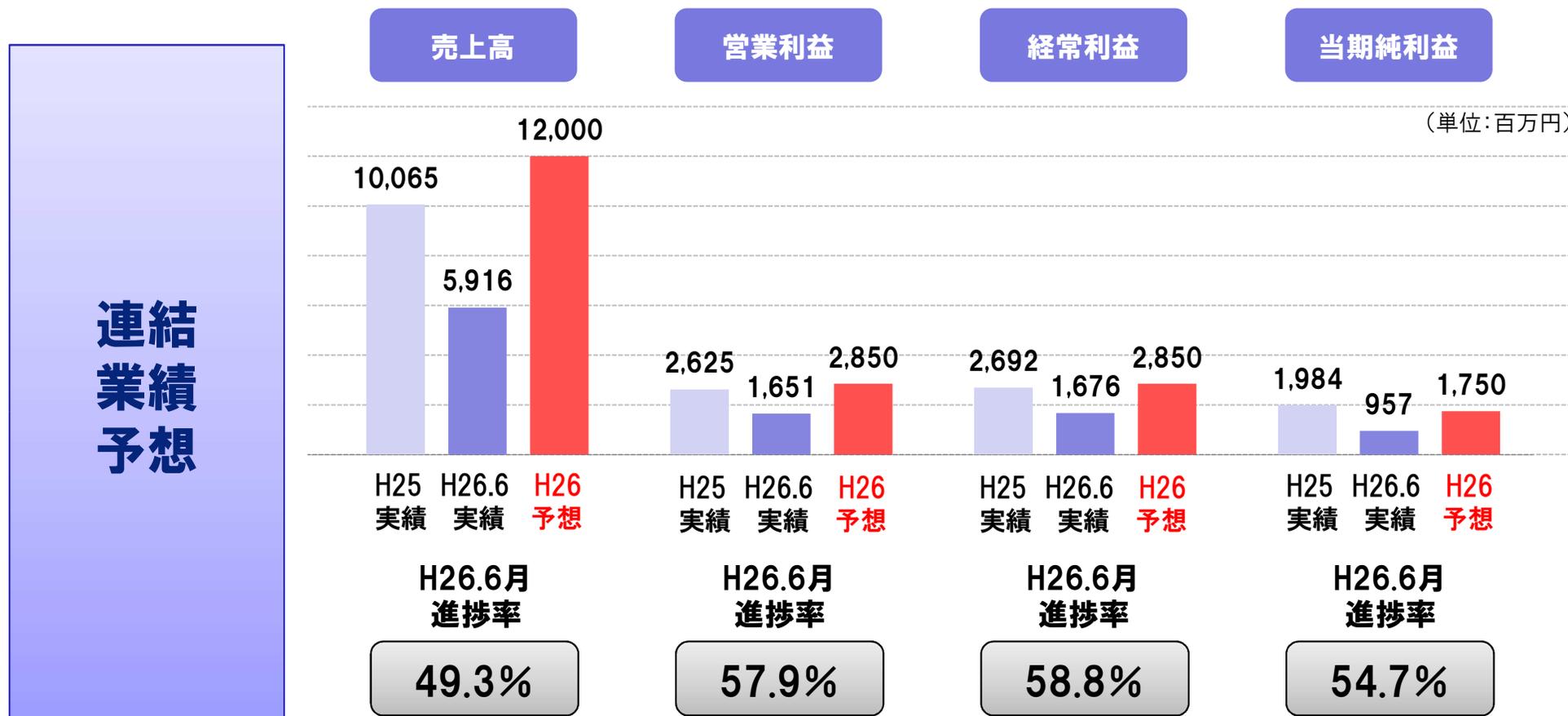
	25年6月		26年6月		
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)
売上高	4,780	100.0	5,916	100.0	+23.8
営業利益	1,350	28.3	1,651	27.9	+22.3
経常利益	1,384	29.0	1,676	28.3	+21.1
四半期純利益	1,153	24.1	957	16.1	-16.9

- 売上は、主力の経営コンサルティング事業が好調に推移したこと、ロジスティクス事業を営む船井総研ロジ株式会社がグループに加わったこともあり前期比23.8%増と大幅に増収。
- 営業利益・経常利益もそれぞれ前期比22.3%増、21.1%増と揃って大幅増益。営業利益率、経常利益率はいずれも27%超と引続き高い水準を維持。
- 四半期純利益は、9.57億円という結果となった。

※前年度は投資有価証券の売却益及び船井キャピタル解散に伴う法人税等の圧縮効果あり(約300百万円)

# 1. エグゼクティブサマリー

## (2) 通期業績予想に対する進捗状況



- 売上に関しては、前年度対比約20%増の通期業績予想に対し49.3%の進捗率で推移。
- 利益に関しては、営業利益、経常利益、当期純利益とも、それぞれ50%を超える進捗率で推移。



# 平成26年12月期 第2四半期決算報告

Funai Soken Holdings Inc. Investors Relations

## 2. 平成26年12月期第2四半期決算報告

### (1)セグメント別経営成績

#### 売上高（※外部顧客に対する売上高）

	25年6月		26年6月		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)
経営コンサルティング事業	4,669	97.7	5,179	87.6	+10.9
ロジスティクス事業	—	—	644	10.9	—
その他	110	2.3	91	1.5	-16.7
合計	4,780	100.0	5,916	100.0	+23.8

#### 営業利益

	25年6月		26年6月		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)
経営コンサルティング事業	1,349	99.9	1,611	97.6	+19.4
ロジスティクス事業	—	—	18	1.1	—
その他	20	1.5	18	1.1	-10.8
セグメント間取引	2	0.2	2	0.2	—
合計	1,350	100.0	1,651	100.0	+22.3

注意) 今期よりベンチャーキャピタル事業を廃止。同事業を営む船井キャピタル株式会社を25年9月27日に清算終了したことによる。(25年6月期営業利益-22百万円)

#### 【参考】

※セグメント別売上高予想：（経営コンサルティング事業）5,260百万円（ロジスティクス事業）640百万円（その他）100百万円（計）6,000百万円

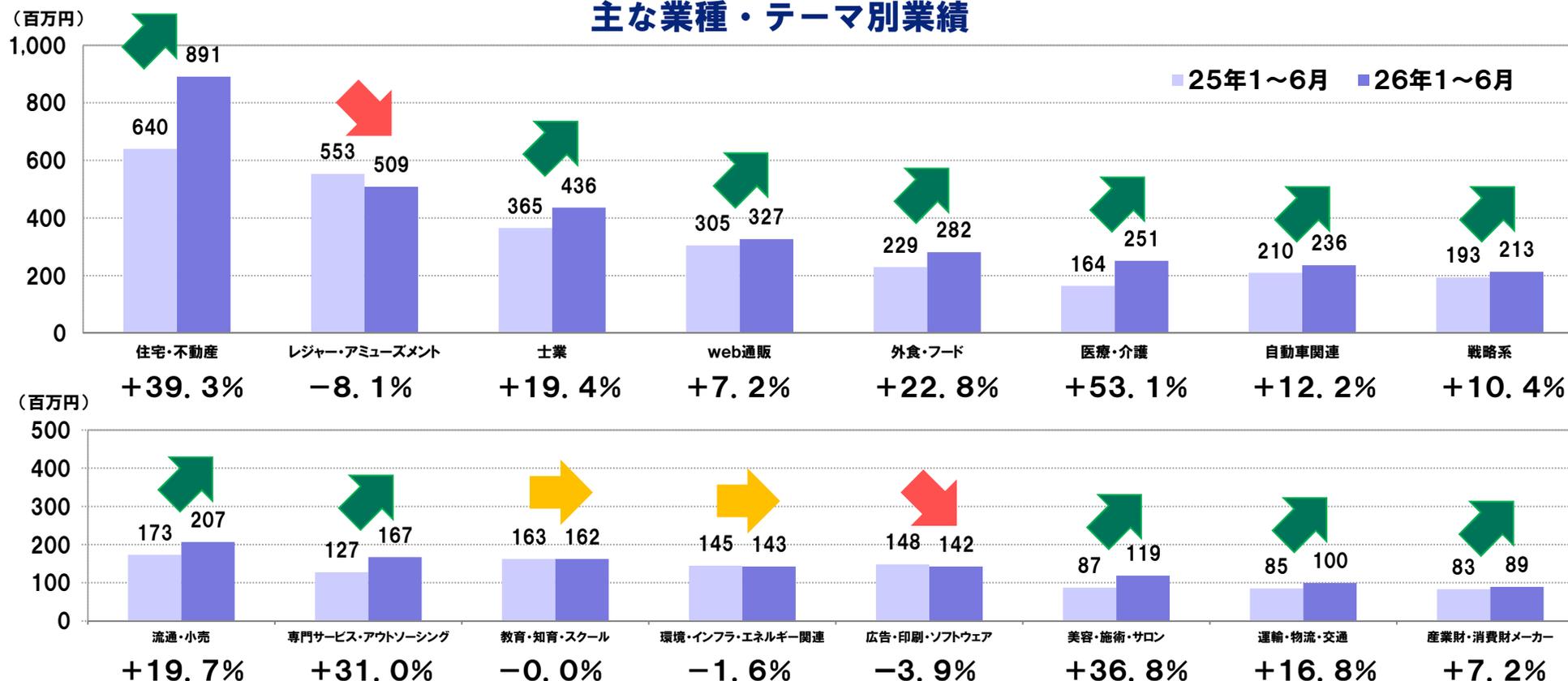
※セグメント別営業利益予想：（経営コンサルティング事業）1,390百万円（ロジスティクス事業）5百万円（その他）5百万円（計）1,400百万円

- 主力の経営コンサルティング事業については、今期も順調に業績を伸ばし、売上高で前期比10.9%増、営業利益においても前期比19.4%増と好調に推移。
- 今期よりロジスティクス事業を営む船井総研ロジ株式会社がグループに加わり、売上高で644百万円、営業利益で18百万円の実績となった。

## 2. 平成26年12月期第2四半期決算報告

### (2) 経営コンサルティング事業における業績動向

#### 主な業種・テーマ別業績



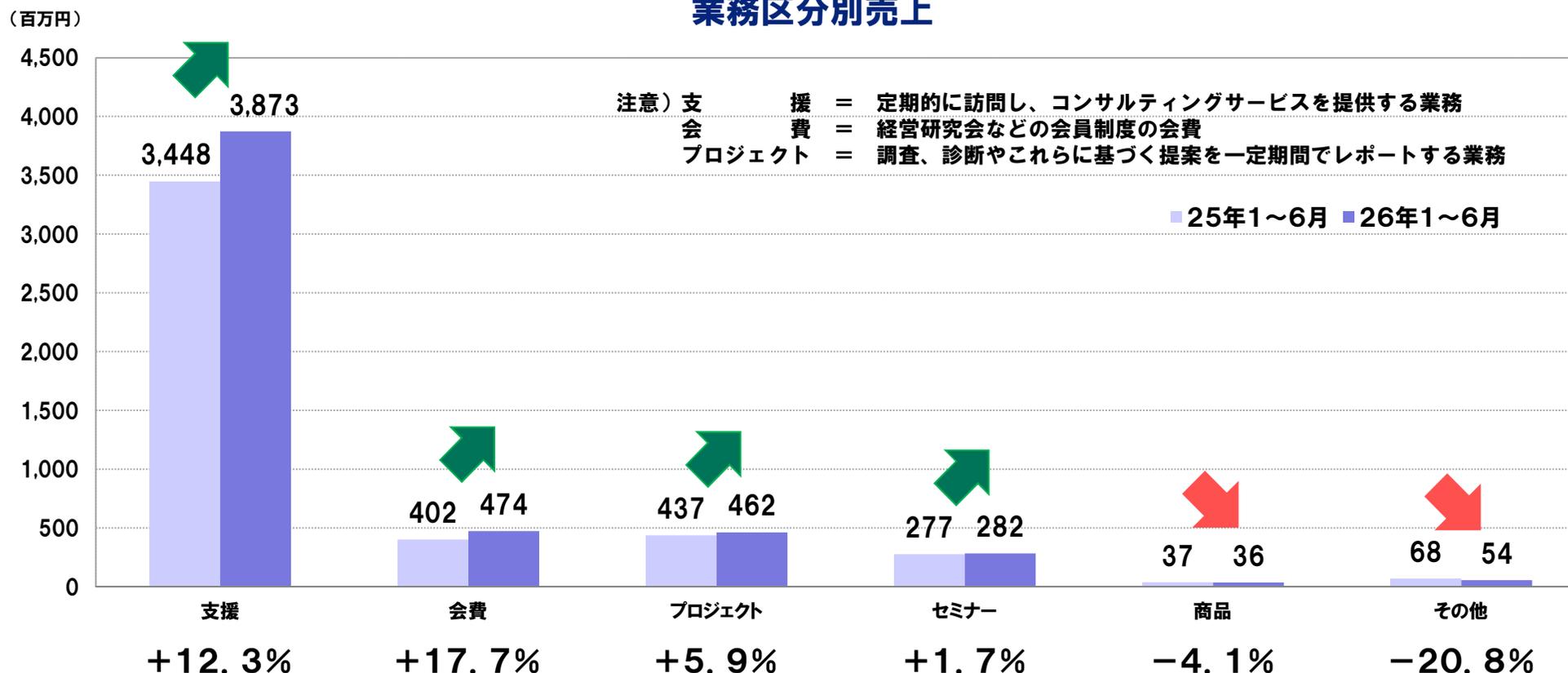
注意：上記数値は、各本部数値を除くグループ別粗々利実績をもとに算出した数値です。（粗々利：売上高から人件費以外の直接原価を控除した金額）

- 当社最大の部門である住宅・不動産業界向けコンサルティング部門においては、大きく業績を伸ばす。その他、士業業界、外食・フード業界など多くのコンサルティング部門においても前年を上回る実績であり好調を維持。
- 特に医療・介護業界向けコンサルティング部門においては、前年同四半期より1.5倍の業績の伸びを示す結果となった。

## 2. 平成26年12月期第2四半期決算報告

### (2) 経営コンサルティング事業における業績動向

#### 業務区分別売上

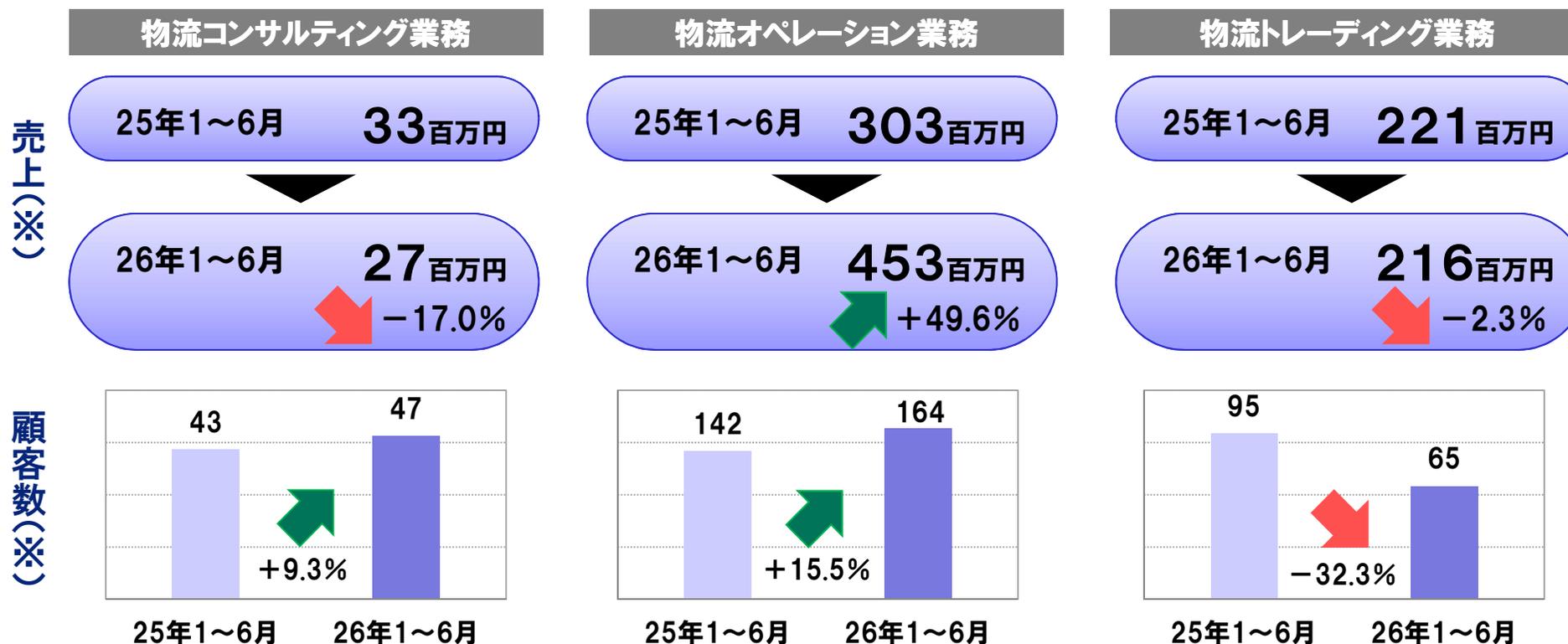


- 全体の約75%を占める支援業務は、引続き好調に推移。
- 当社の強みの一つである業種別経営研究会の会費収入も順調に増加し、プロジェクト業務を上回るまでに拡大。
- 中堅・大手企業を中心とするプロジェクト業務の受注も順調に増加。

## 2. 平成26年12月期第2四半期決算報告

### (3) ロジスティクス事業における業績動向

#### 業務区分別売上および顧客数の推移

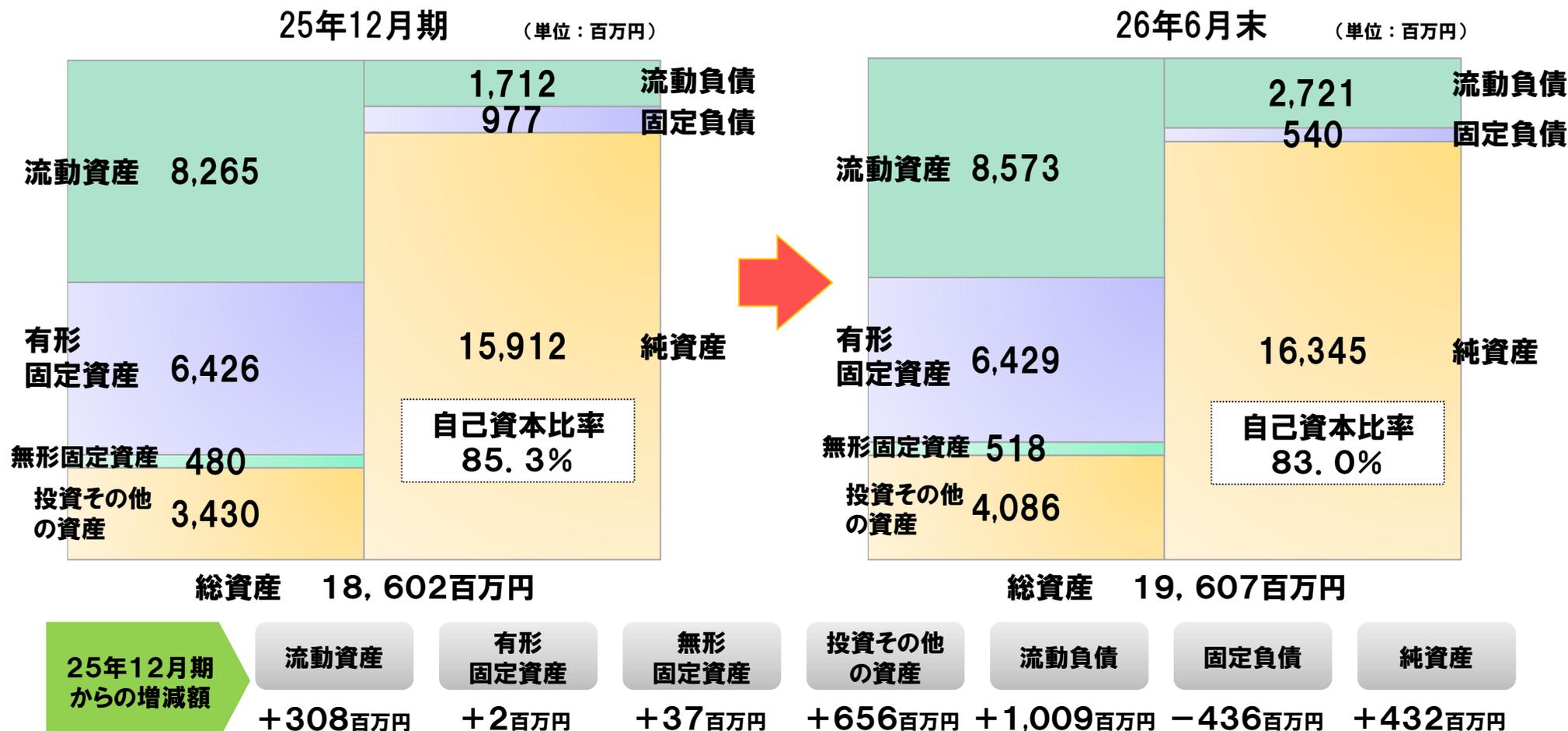


※売上は、グループ内取引を含んでおります。顧客数は、6ヶ月間の延べ社数を示しております。26年1月より連結グループに加わりました。

- 物流コンサルティング業務・・・前年同四半期と比べて新規受注が増加。
- 物流オペレーション業務・・・消費税増税の反動が懸念されたが、顧客の販売促進活動の活発化により業務量増加。
- 物流トレーディング業務・・・燃料単価や物流資材単価上昇の影響を受ける。

## 2. 平成26年12月期第2四半期決算報告

### (4) 連結財務状況（要約貸借対照表）



- 財務状況については、引き続き高い自己資本比率(83.0%)を維持しており、健全な状態にある。
- 投資その他の資産の増加は、主に債券等の投資有価証券の購入によるもの。
- 流動負債の増加は、主に社債の償還期限が1年以内になったことによる固定負債から振替えたもの。

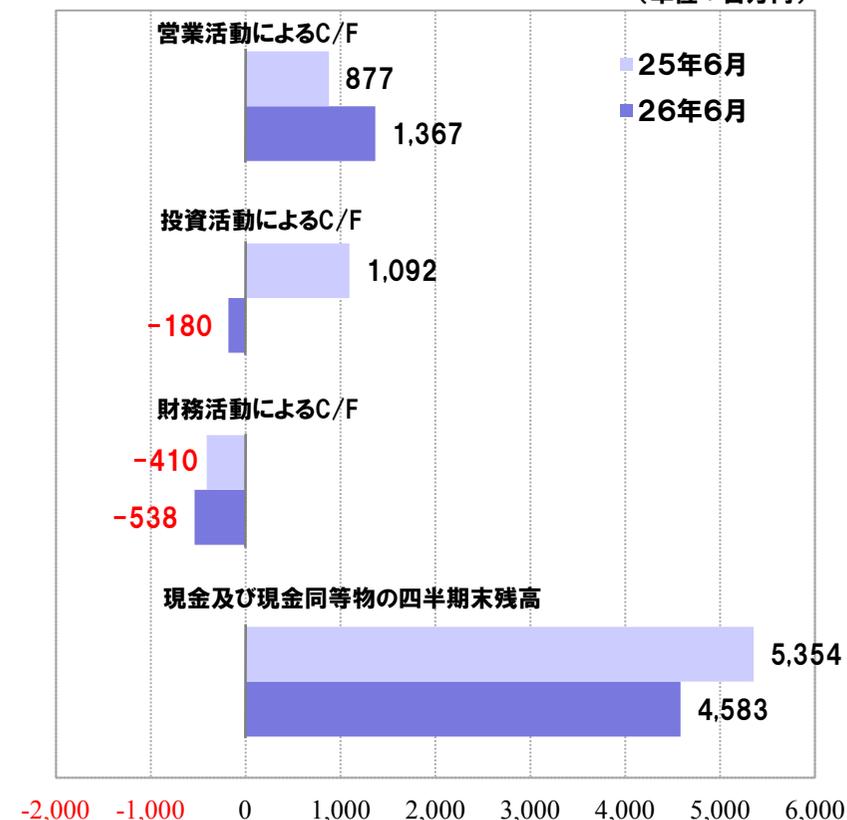
## 2. 平成26年12月期第2四半期決算報告

### (4) 連結財務状況 (要約キャッシュフロー)

(単位：百万円)

	平成25年6月	平成26年6月	増減額
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
税金等調整前四半期純利益	1,466	1,628	162
減価償却費	104	99	△ 4
売上債権の減少額	79	87	7
その他の資産の増減(△は増加)	△ 1	△ 48	△ 46
その他の負債の増減(△は減少)	△ 76	△ 78	△ 2
その他	△ 44	86	131
小計	1,527	1,775	247
利息及び配当金の受取額	29	22	△ 6
法人税等の支払額	△ 520	△ 377	142
その他	△ 158	△ 53	105
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>877</b>	<b>1,367</b>	<b>489</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
定期預金の払戻による収入	—	350	350
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△ 661	△ 2,126	△ 1,465
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	1,805	1,602	△ 203
有形及び無形固定資産の取得による支出	△ 86	△ 51	34
その他	33	45	11
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,092</b>	<b>△ 180</b>	<b>△ 1,273</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
自己株式売却による収入	49	14	△ 35
配当金の支払額	△ 448	△ 492	△ 43
その他	△ 11	△ 60	△ 49
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 410</b>	<b>△ 538</b>	<b>△ 128</b>
現金及び現金同等物の増減額	1,563	647	△ 916
現金及び現金同等物の期首残高	3,790	3,936	145
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,354	4,583	△ 770

(単位：百万円)



- 営業活動より得られた資金は、1,367百万円となる。税金等調整前四半期純利益の増加により、前年と比べて+489百万円となる。
- 投資活動により使用した資金は、主に余資運用によるもの。
- 財務活動により使用した資金は、主に配当金の支払によるもの。

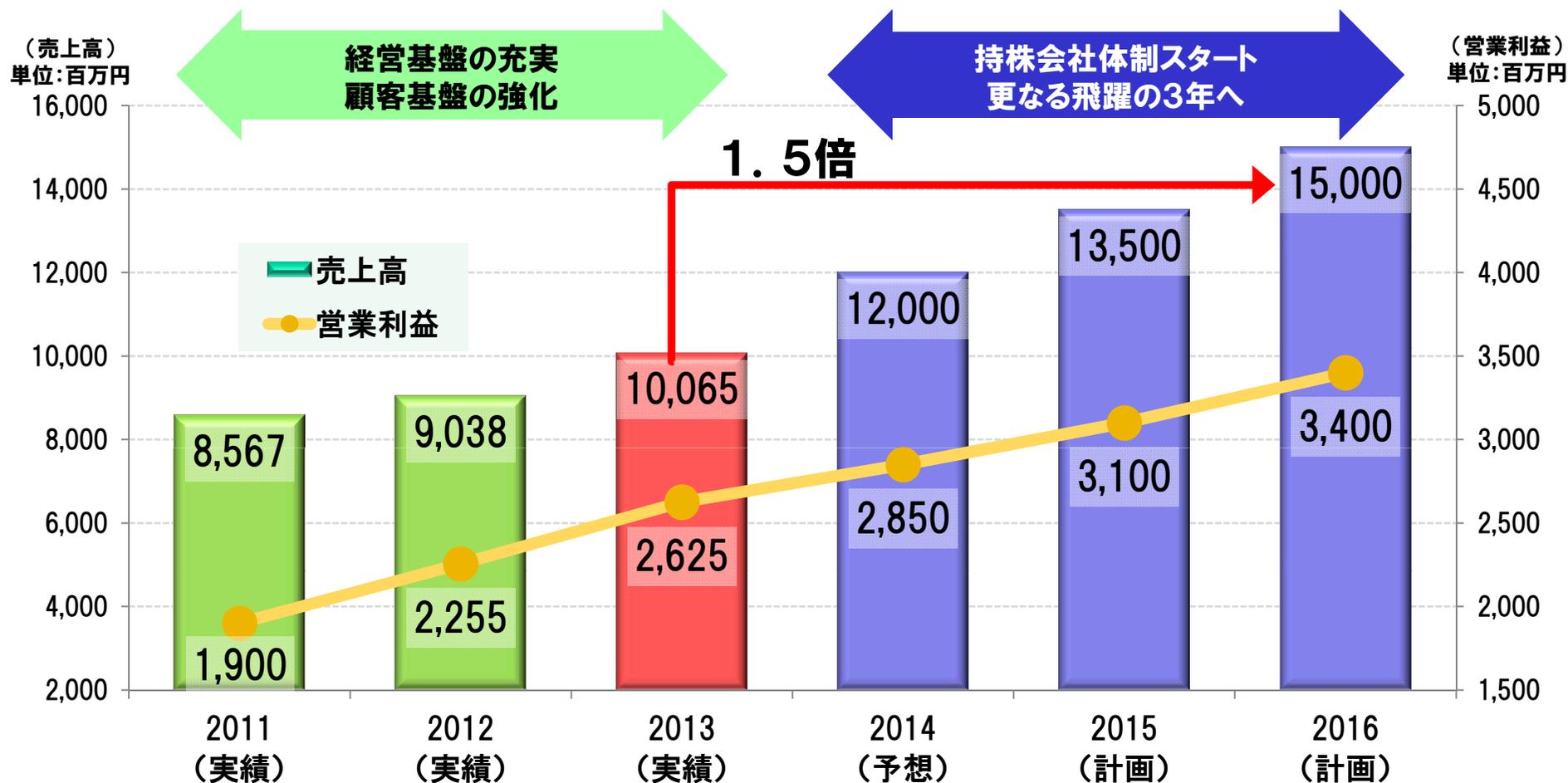


# 今後の見通しと 当社の取り組み

Funai Soken Holdings Inc. Investors Relations

### 3. 今後の見通しと当社の取り組み

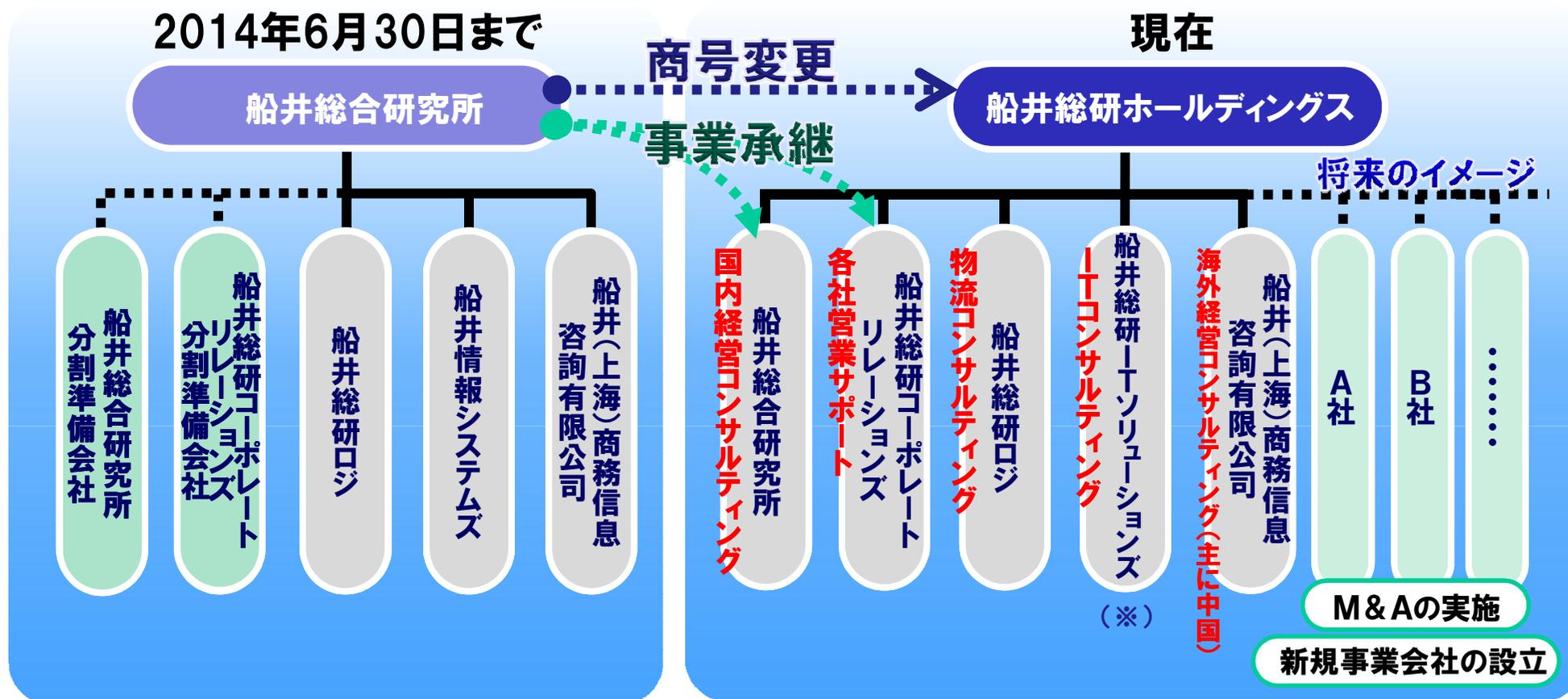
#### (1)過去の業績推移と中期数値計画



■ 船井総研グループは、2011～2013年度の3年間を経営基盤の充実と顧客基盤の整備に努めてまいりました。今後3年間(2014～2016年度)は、持株会社体制への移行(7月1日実施)を機に、更なる業容拡大に向けて経営戦略の立案および実行を推進し、3年間で売上1.5倍の成長を目指してまいります。

### 3. 今後の見通しと当社の取り組み

#### (2) 持株会社体制への移行について(2014年7月1日体制移行)



- 当社はグループの成長を更に加速させるために、7月1日に持株会社体制へ移行いたしました。
- 持株会社体制への移行を機に、今後は経営コンサルティング事業とのアライアンス効果の高い企業のM&Aの実施や、グループ内新規事業会社の設立にも、積極的に取り組んでまいります。

(※)2014年7月1日より株式会社船井情報システムズは、株式会社船井総研ITソリューションズに社名を変更いたしました。

### 3. 今後の見通しと当社の取り組み

#### (3) 各事業会社の今後の見通しとグループ間の連携体制について

■ 船井総研グループは、クライアントからの多種・多様なニーズに対し親身に応えるために、経営コンサルティング事業をコアとしながら、コンサルティング周辺事業へ事業領域を拡充してまいります。



※コンサルティングバックエンド事業…コンサルティング実施後に発生する後工程の実務事業を実施する(コンサルティング要素で他社と差別化)

※コンサルティング機能特化事業…調査・分析事業などコンサルティングの前工程や一部機能を特化した事業を実施する(現在、子会社はなし)

※グループサポート事業…グループ各社のサポートやコンサルティングを側面からサポートする事業を実施する



# 株主還元について

Funai Soken Holdings Inc. Investors Relations

## 4. 株主還元について

### (1) 配当について

基準日	1株当たり配当金 (単位:円)			配当金総額 (単位:百万円)	配当性向 (連結)
	中間	期末	年間		
2010年12月期	10.0	12.0	22.0	618	106.1%
2011年12月期	10.0	14.0	24.0	675	56.4%
2012年12月期	10.0	16.0	26.0	731	55.2%
2013年12月期	10.0	19.0	29.0	817	41.2%

### (予想)

2014年12月期	15.0	16.0	31.0	—	50.0%
-----------	------	------	------	---	-------

- 当社は、株主の皆様への適切な利益還元を経営の最重要課題と認識しております。
- 2014年12月期の配当は2013年12月期より2円増配とし、中間15円、期末16円、年間31円を予定しております。

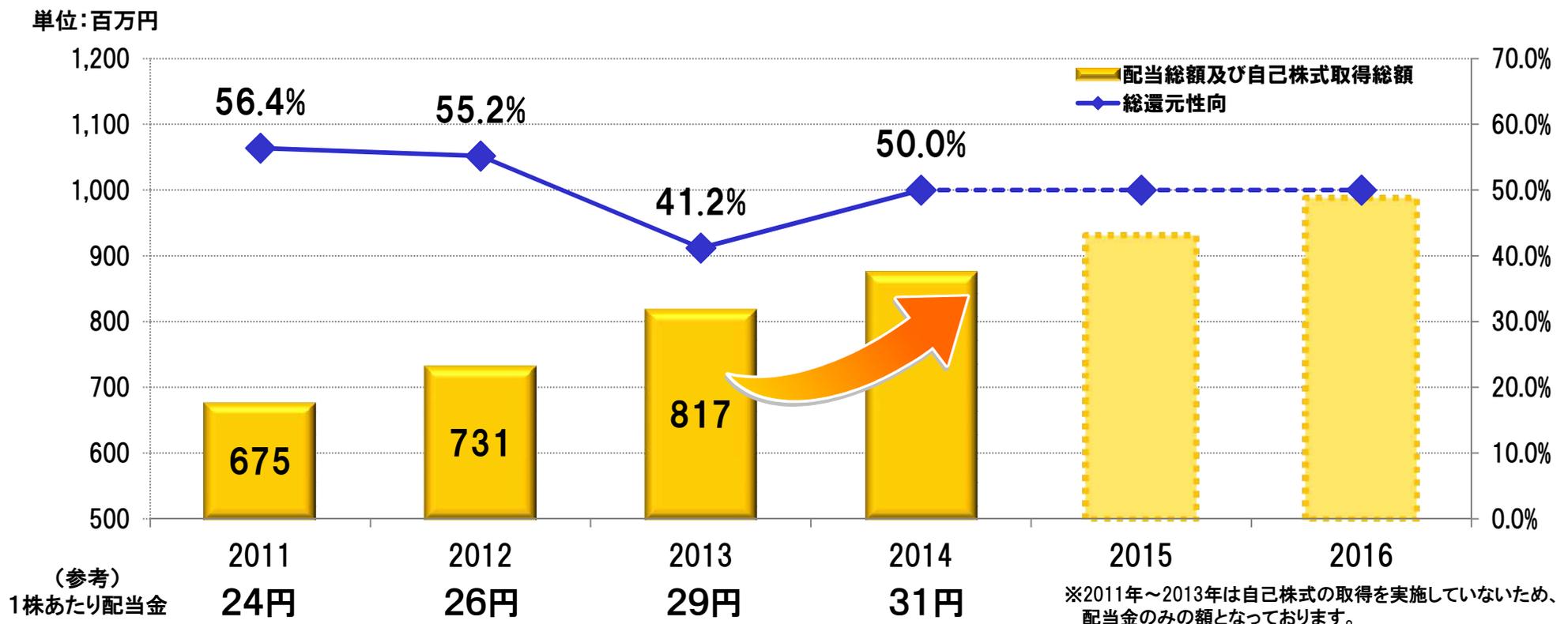
# 4. 株主還元について

## (2) 株主還元方針について

■ 当社は、財務体質と経営基盤の強化を図るとともに、株主の皆様への適切な利益還元を行うべく、今後も業績を考慮しながら、「配当による還元」と「自己株式取得による還元」の双方を軸に実施していきたいと考えております。

### 総還元性向 について

当社は、今後も**配当総額**を持続的に上げ続けていきたいと考えており、**総還元性向**として**50%前後**を目安としてまいります。





## 私たちの約束

### 人・企業・社会の未来を創る

私たちは、船井総研グループに関わる人・企業、そして社会に対して、より良い未来を提案し、その実現を全力で支援していきます。

## 私たちの目指すもの

### 仕事を通じて、人と企業を幸せにする 常に社会に必要とされるグループ経営を目指す

私たちの目指すグループ経営とは、関係する人・企業を幸せにすることだと考えております。幸せを願う人や企業にとって必要なグループになることが、結果、常に社会に必要とされる存在になると考えております。

## 【本資料に関する注意事項】

本資料に掲載されております計画や見通し、戦略等は、現時点において入手可能な情報や合理的判断を根拠とする一定の前提条件に基づいた当社の判断による予測です。

従いまして実際の業績等は、今後の様々な要因により、これらの見通しとは大きく変動する場合があります。

本資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りによって生じた損害などに関し、当社は一切責任を負うものではありませんので、ご了承ください。

本資料は投資誘導を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身の判断において行われるようお願い致します。

### IRに関するお問い合わせ先

株式会社 船井総研ホールディングス

CSR・IR室 齊藤 英二郎

TEL: 03-6212-2923 FAX: 03-3216-0086

Mail: [ir@funaisoken.co.jp](mailto:ir@funaisoken.co.jp) URL: <http://hd.funaisoken.co.jp>